



女性協議会

各地連で 女性協定期大会開催

活発な討論が展開される

九州地連女性協定期大会

九州地連女性協議会の第三四回定期大会は、10月27日・28日の二日間、福岡市で開かれ、一三三組、労働地連役員あわせて三二名が参加しました。

一日目は、九州地連・岡田浩一委員長が「労働組合と平和問題」をテーマに、講演しました。防衛庁の省

への昇格や、進む集団的自衛権行使の研究、自衛隊の国民監視の横行など、国民を巻き込んだ形で審議だけが進んでいる今の日本では、憲法九条を改正しなくても戦争できる国家作りを著々と進めているといっ

東北地連女性協定期大会

11月3日・4日の二日間、宮城蔵王温泉田温泉ホテルによる仕事量の増大で、勝ち取った要求を現実には活用できない。また、「母性保護等の要求の提出は組合員に該当者がいないと難しい」といった意見もあ

ました。一方で、「人員減」による仕事量の増大で、勝ち取った要求を現実には活用できない。また、「母性保護等の要求の提出は組合員に該当者がいないと難しい」といった意見もあ

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>



問題と共有化し解決しよう

働に加え、自宅通勤できない、とても生活できないほど低賃金の実態も報告されました。「新人事制度、成果主義」についても、数値目標の意味がなく、実際評価する側でさえ困っているという評価基準の曖昧さがあり、チームで働く放送局には到底なじむ制度になり

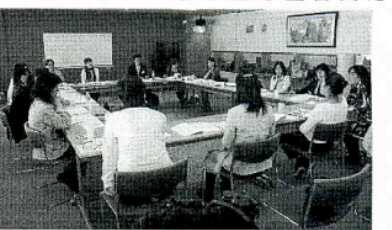
中四国地連女性協定期大会

中四国地連女性協議会定期大会が10月20日、広島で開かれ、単組、地連女性協、地連執行部、労働本部から一六名の参加がありました。

大会では各組報告が行われ、その中で話題となったのが、広島テレビ労組からの現状報告でした。会

ではどうが「組合活動も楽しくなくては、新たな動員につながるのではなか」各地のイベントに合わせた勉強会を開催してはどうかなどの意見のもと、5月までに再びイベントを開催することが

大会では、女性たちが実際に顔をあわせてコミュニケーションをとる、問題を共有化し、今後小さな要求や悩みを見逃さず問題解決のために取り組んでいくという方針を確認しました。



来年の「全国女性の集い」は広島です

近畿地連女性協定期大会

近畿地連女性協定期大会が11月29日に近畿地連会館で開かれ、七単組二二名が参加し、07年春夏闘争の成果と年末闘争への取り組み等について議論しました。

毎日放送労組は、成果として育休中の補助金月額五万円から一〇万円にすることを報告。また、いたた男性社員の育休取得者が単組内では唯一ゼロである現状の改善など、ワークライフバランスの取れる職場環境づくりを今後のとくみとして、朝日放送労組が選出されました。

中四国地連女性協定期大会

社から新しく示された中期経営計画の内容や、職能別人事制度について説明がありました。また今年度は、FM山陰労組からの参加があり、FM局の労働の現状についても報告がされました。

ほかに、来年行われる全国女性の集いが中四国地連の担当となったため、実行委員長が進捗状況の報告を行いました。全「国女性の集い」は来年6月21・22日、広島開催で準備を進めています。中四国地連内、各単組とも協力をすることを確認して大会を終了しました。



大会参加のみなさんで記念撮影

二日目は各単組からアンケートを回収した結果をもとに討論し、「女性アナウンサー五人のうち二人が契約社員で非組合員」、アナウンサー九人のうち正社員は五人、残り四人は契約社員で残業代は出ない」といった雇用形態の複雑化や

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告

と嬉しい報告